

日本ラカン協会第11回大会

Le 11^{ème} Congrès de la Société Lacanienne du Japon

「精神分析的概念の継承——

Todestrieb をめぐって」

Héritage d'un concept psychanalytique ----autour de la pulsion de mort

日時：2011年12月11日（日）10:00-18:00

10:00-18:00 dimanche 11 décembre 2011

場所：専修大学神田校舎7号館731教室（3F）

Salle731, bâtiment7 du campus de Kanda, Univ.Senshu

午前の部（研究発表）10:00-12:00

① 彦坂尚嘉(立教大学)

「自殺した美術家の作品に見る象徴界の崩壊・・・
言語判定法によるラカンの鏡像理論の拡張の試み」

司会：福田 肇（樹徳中高一貫校）

② 松本卓也(自治医科大学精神医学教室)

「元素的現象（基礎的現象）——ヤスパースからラカンへの随された道」

司会：磯村 大（金杉クリニック）

★

午後の部 13:00-18:00

① 総会 13:00-14:00

② 第11回大会シンポジウム 14:00-18:00

テーマ：「精神分析的概念の継承——Todestrieb をめぐって」

提題者：保科正章(保科メンタルクリニック)「死の欲動のイラストレーション」

遠藤不比人(成蹊大学)「反/革命の死の欲動——マルクスとフロイトの交錯点」

石澤誠一(大阪府立大学名誉教授)「フロイト最後のことばを承けて」

司会：福田大輔(青山学院大学)

ディスカッサント：佐藤朋子(東京大学)

連絡先：〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-18 東京大学 駒場キャンパス 18号館 805

原和之研究室 Fax：03-5454-6400

日本ラカン協会 HP：<http://www.k4.dion.ne.jp/~lsj/>

入場無料 Entrée libre

